



研究所だより

相良 孝雄

この間、研究所内では、「労働者協同組合法」(仮称)を軸にしながらかも、忙しい日々が続いている。毎月の協同の叢見誌の編集作業とともに、総会の議案づくりや会の準備、ホームページのリニューアル、協同で働くガイドブックの作成、ワーカーズコープ寄附講座や大学での講義内講座の準備、2019年度名簿作成準備、各研究会の仕込み準備と学会関係対応、全国協同集会 in kanagawaへの準備等がある。研究所の取り組み範囲が広がるとともに事務作業も増えているが、一番重要なことは研究所の存在意義を社会に問えるかどうかである。その意味では今年の研究所の1つの研究テーマになる「社会的連帯経済」について少し触れてみたい。

昨年訪問したスペインでは、「マドリッド連帯経済見本市」「バルセロナ市サンツ地区の協同組合ツアー」等を通じて、市民・労働者が協同組合(主には労働者協同組合)をつくり、「地域コミュニティに根ざしながら、当事者も関わる事業・運動をつくり、オルタナティブな経済・社会をつくる社会変革の主体である」連帯経済を実践から体感した。帰国後、協同総合研究所(11/17)、社会的企業研究会(12/21)、ソウル宣言の会(2/3)、日本協同組合連携機構(JCA 5/30)等でスペイン調査報告をするなかで、日本の労働者協同組合は協同組合としての「社会的

経済」の組織であるとともに、当事者自身が主体となり、社会変革を目指す「連帯経済」を志向する「社会的連帯経済」の組織であることを強く意識する契機となった。

そこで研究所として2019年度は「社会的連帯経済×協同労働」研究会(仮称)を立ち上げ、立教大学の北島健一協同総研理事を座長に、継続的に研究会を開催していく予定である。内容については参加者と深めたいが、事務局の視点として2つの目的を持って開催したい。1つは「社会的連帯経済」の研究・交流の拠点づくりと実装化である。2つ目に「社会的連帯経済」組織の労働のあり方を協同労働の視点から深めることである。

資本主義社会において、格差・貧困が広がり、地域が疲弊するなかで、新たな社会像の可能性を探ることとして社会的連帯経済があり、その主体として労働者協同組合の実装化があると考えている。このことと「労働者協同組合法」制定の動きを架けあわせながら、既存の協同組合、NPO、中小企業団体、労働団体、地縁組織(町内会等)等への社会的インパクトを与えられるような理論と実践をつなぎ合わせて進化させることをしたい。このことを行う上で、上から労働者協同組合や社会的連帯経済をかぶせるのではなく、それぞれの団体・個人が「労働者協同組合」や「社会的連帯経済」が必要

であることを自己認識することが前提として大切であると考えている。そして協同総研が「協同」を軸とする研究・調査・政策提言・交流・学びの5つの役割を果たすプラットフォームとしてより充実した研究所にしていきたいと考えている。

労働者協同組合法の進捗を多方面に発信するなかで、会員から研究所に相談・意見をいただくことが多くなっている。例えば、東京の小金井市の現代座(前統一劇場)の木村快会員から「『協同』をテーマにした研究会を開催したい。今まで演劇を通じて、人と人との共生・協同について考えてきたが、協同をつくる上での文化のあり方を深めたい」。コンピュータープログラミングをされている工藤靖顕会員からは「AIや情報に関わるワークスコープを設立したい。設立したい

人たちが集まり交流できないか」との話がある。会員一人ひとりの特技や想いを聴き、共に問い合うテーマ、交流し合うテーマを出しながら、会員が主体となりつくる研究所づくりをより一層発展させたい。

協同総合研究所は2020年3月23日に30年目を迎える。設立されたのは1991年3月23日である。25周年記念集会を2016年12月3日に行なってからもう2年半の月日が経つ。2019年度中に30年目を迎えるなかで、個人的には節目としての記念集会を企画・検討・開催できればと思っている。その第1歩としての6/29の一般社団法人協同総合研究所第7回(通算28回目)の総会を盛大に開催し、弾みをつけたい。

研究所活動日誌 (2019.5.16~6.15)

5月

- 18日(土) 第5回協同総研理事会、研究会「労働者協同組合法案(仮称)の仕組みについて」
報告者 山本幸司(日本労協連副理事長)、『労働者協同組合法』の経過
島村 博(協同総合研究所理事長)「法案骨子の内容について」
- 20日(月) 全国協同集会 in kanagawa実行委員会
- 24日(金) 立教大学NPO論出講(相良)、日本協同組合学会理事会
- 25日(土) センター事業団東京北部総代会議、日本協同組合学会春季研究大会(駒澤大学)
- 28日(火) 第3回協同労働研究会、若田充子さん(社会保険労務士事務所代表)と懇談
- 29日(水) ワーカーズコープ立ち上げハンドブック会議
- 30日(木) センター事業団本部長・事務局長会議、日本協同組合連携機構(JCA)第3回
協同組合法制度のあり方研究会報告(相良)
- 31日(金) 労協連理事会、センター事業団新人事務局会議振り返り会議

6月

- 1日(土) 日本高齢協連総会、NPO現代座訪問
- 3日(月) 全国協同集会 in kanagawa事務局会議、川崎平右衛門顕彰会、研究会打合せ
- 4日(火) 労協連合同5役会議、協同総研事務局会議
- 5日(水) 明治大学大高研道ゼミ 矢板地域福祉事業所 訪問
- 6日(木) 首都圏若者サポートネットワーク資金造成WG、社会的企業研究会運営委員会(明治)
- 7日(金) ソウル宣言の会 社会的連帯経済に関わる懇談
- 10日(月) 下山拓滋(意思決定コンサルタント)さんと懇談、全国協同集会 in kanagawa
実行委員会
- 12日(水) 千葉大学ワーカーズコープ寄附講座講義(伊丹謙太郎さん)
(全8回12日~7月31日各水曜日に開催。センター事業団関東事業本部、ワーカーズコープちば、協同総研で開催)
- 13日(木) 明治大学大高研道ゼミ松戸あじさい訪問、東京福祉大学小西洋平さんと懇談、
本部シンポジオン
- 14日(金) ワーカーズコープ立ち上げガイドブック会議

今後の活動予定 (2019.6.16~7.30)

6月

- 17日(月) よい働き方研究会打ち合わせ
- 18日(火) 専修大学社会教養特別講座(内山哲朗さん)全4回(他6/25,7/2,7/9)出講(相良)、府中あおば地域福祉事業所取材訪問
- 20日(木) 労協連理事会、センター事業団理事会、全労済協会と懇談
- 21-21日(金-土) 労協連総会
- 22-23日(土-日) センター事業団総代会
- 24日(月) 上村協子さん(東京家政学院大学)と懇談、川崎平右衛門顕彰会・研究会理事会
- 26日(水) 山梨県立大学就労支援論(下村幸仁さん)講義(全5回 他6/19、7/3、7/13、7/17)センター事業団東京三多摩山梨事業本部・協同総研で開催。
- 27日(木) 新潟大学ワーカーズコープ論寄附講座打ち合わせ(渡邊登さん)
- 29日(土) 協同総合研究所総会、総会記念フォーラム「イタリア研究調査報告他」、懇親会
- 30日(日) 日本協同組合学会新理論研究会(名古屋)

7月

- 4日(木) センター事業団理事会、日本協同組合学会常任理事会
- 5日(金) 労協連理事会
- 7日(日) 第4回よい働き方研究会
- 8日(月) 全国協同集会 in kanagawa事務局会議
- 9日(火) 国際協同組合デー記念中央集会
- 10日(水) 都道府県協同組合連携組織 全国交流会議
- 12日(金) 京都大学協同組合論(辻村英之さん、北川太一さん)出講(センター事業団関西事業本部と相良)、日本社会連帯機構理事会
- 13日(土) JYCフォーラム総会・研究大会、法政大学大学院連帯社会インスティテュート出講(相良)
- 18日(木) Mutualite FRANCAISE(フランス共済連合会)協同総研に来研。
- 21日(日) 社会的企業研究会総会、100回記念シンポジウム
- 22日(月) 全国協同集会 in kanagawa実行委員会
- 23日(火) 社会的連帯経済×協同労働(仮称)研究会・戦略会議
- 25-26日(木-金) センター事業団全国事業所長会議
- 29日(月) 第4回協同労働研究会

第1回「社会的連帯経済×協同労働」研究会と戦略会議 開催要綱

一般社団法人 協同総合研究所

この間、研究所ではスペインやイタリアに訪問するなかで、市場主義経済のオルタナティブとしての社会的連帯経済の団体調査・訪問を通じて、労働者協同組合（ワーカーズコープ）の事業・運動は、社会的経済の団体（協同組合組織）であるとともに、連帯経済を推進する組織であることを実感し、日本において労働者協同組合（ワーカーズコープ）は「社会的経済」と「連帯経済」両方の性格を持つ「社会的連帯経済」を志向する団体であることを考えています。

そこで、日本の連帯経済の研究者であり、協同総合研究所理事である北島健一さん（立教大学）を座長として、「社会的連帯経済×協同労働」研究会を立ち上げます。この研究会を通じて、日本における社会的連帯経済の理論と実践を深め、ネットワークを広げるきっかけをつくりたいと考えています。

「労働者協同組合法」（仮称）の制定が直前とする情勢の下、「社会的連帯経済」を推進する上での「協同労働」の社会的インパクト等を深めることも視野に入れ開催します。ご参集のほど、よろしくお願い致します。

記

日時：2019年7月23日（火）15:00～18:00

場所：日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会 8階 C会議室
（東京都豊島区東池袋1-44-3 池袋ISP タマビル）

内容

「本研究会開催にあたっての解題－連帯経済の理論と実践を進展させるには」

北島 健一さん（立教大学コミュニティ福祉学部教授/協同総研会員）
本研究会開催趣旨に沿って、意見交流をして、第2回目以降の研究会のあり方を検討します。

申込：7月11日（木）までに、メール等で当研究所にご連絡をいただければと思います。

連絡先：一般社団法人 協同総合研究所 担当：荒井

Tel: 03-6907-8033 Fax: 03-6907-8034 E-mail: kyodoken@roukyou.gr.jp

以上

協同の発見誌活用プロジェクト

「協同」

の

実践・研究の宝庫

今、知りたい情報と問いたいテーマがここに!!

一般社団法人 協同総合研究所

特別価格
1冊 1,000円
販売中!!

会員募集中!!

■年会費：個人会員／購読会員 12,000円

学生・障がい者 6,000円 団体会員 30,000円

■会員サービス：会員の方は、総会への参加(年1回)及び下記のサービスが受けられます

- ・所報『協同の発見』誌(毎月1回)の会員価格適用での頒布
- ・各種研究会への参加費の会員価格適用
- ・書籍購入の際の会員価格適用